

9. 社会的養護自立支援の推進に向けた取り組み

代替養育の目的の一つは、当該の子どもが成人になった際に社会において自立的生活を形成、維持しうる力を養い、またそのための社会的基盤（住居環境・就労機会・教育機会の確保など）を整備することにあります。

一方、代替養育のもとで育った子ども達は、社会へ自立するに当たって、それまでの児童福祉法の「措置」という強い制度的枠組みでの養育から、家族の支援がほとんど期待できず、経済基盤も脆弱で、日常生活で生じる様々な問題の相談者や支援者が乏しいという状況に置かれることとなります。

したがって、自立生活の開始段階からの生活環境整備のための費用負担など、個々の子どものニーズに応じた支援的関わりが重要であり、18歳を超えても継続して支援がなされるよう、改正児童福祉法により自立のための支援が必要に応じて継続されるための仕組み等が整備されました。

これを踏まえ、本計画においても、「すべての子どもが社会全体に支えられた」自立を目指し、社会的養護の子どもの自立支援策の強化に向けた計画を策定するものです。

（1）子どもの自立支援事業の実施

【基本的考え方】

- 代替養育や在宅指導などを経験した子どもの自立支援については、県としての責務ではありますが、子どもに自立を強制することがないように、子どもの意見に十分に耳を傾け、「すべての子どもが社会全体に支えられた」自立を目指していきます。
- 「措置」している間から施設等と連携し、将来の自立生活を見据えた子どもの学習支援及び自立支援、アフターケアを充実していきます。
- 社会へ自立した子どもにとって、日常生活で生じる様々な問題について、相談できる相手がいるかどうかをセーフティネットの機能として重要であり、その体制づくりを検討していきます。

【現状】

- 自立支援に関する当事者の意見は、60頁「アンケート資料7」、62頁「アンケート資料8」のとおりです。
- 本県独自の助成事業である「児童自立支援事業」（私立高校入学時納付金助成、自動車運転免許取得経費助成）を実施し、親等からの経済的支援がない児童の進学及び就職の機会を確保しています。

- 「要保護児童自立支援資金貸付事業」を実施し、一定期間、家賃及び生活費、資格取得費の貸付を行うことにより、円滑な自立を支援しています。
- 「社会的養護自立支援事業」(政府事業)を実施し、措置解除後も自立のための支援を継続して行うことが必要な場合、22歳になる年度末まで引き続き施設等において居住の場を提供しています。(※)
- 「身元保証人確保対策事業」(政府事業)で、親族等から身元保証が受けられない児童に対し、児童養護施設長等が身元保証人になることによって、就職・自活の機会を確保しています。
- 「未成年後見人支援事業」(政府事業)で、未成年後見人が必要とする報酬等の全部又は一部を支援することで後見人を確保し、児童の日常生活の支援や福祉の向上を図っています。

<平成30年度実績>

児童自立支援事業	私立高校入学時納付金助成	4人
	自動車運転免許取得経費助成	15人
身元保証人確保対策事業	就職時等の身元保証	5人
	アパート賃借時等の連帯保証	8人

※令和元年度新規事業の「社会的養護自立支援事業」については、令和元年度実績が1人となっています。

【課題】

- 各種奨学金の充実を含め、施設等から自立する時の支援については、就職・進学に関わらず支援メニューの充実が図られてきていますが、進学後に就職する場合の初期費用など、自立した後の支援メニューが少ない課題があります。
- 子どものアフターケアについては、施設等で実施しておりますが、専任の職員配置がないため、入所児童のケアに対応しながらの実施となっており、日常生活の相談等十分なアフターケアができていないという児童養護施設からの意見もあり、関係機関との連携が必要です。

【取組】

- 県は、引き続き施設等と連携し、各種奨学金や各種事業を活用しながら、子どもの自立支援を推進していきます。
- 施設等退所後の自立支援についても充実するよう、本県独自の助成事業の拡充に取り組んでいきます。
- 措置解除後の子どものアフターケアについては、当事者である子どもの意見や施設等の意見を踏まえながら、自立後の相談支援体制について検討していきます。

(2) 自立援助ホームの実施

【基本的考え方】

- 自立援助ホームについては、新たに開設の相談があった場合は、政府の補助事業を活用しながら支援していきます。

【現状】

- 平成 28 年 4 月 1 日に県内で初めての自立援助ホームが山形市に開設されました。各年度末の入所児童数は以下のとおりです。

<表 26> 自立援助ホーム入所児童数 (単位 人)

年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
各年度末人数	1	1	5

【課題】

- 令和元年 11 月 1 日現在 6 人が入所しており、定員いっぱいの状況です。
- 現在、山形市に 1 箇所のみを設置です。他地域への設置については、就労・就学場所の確保が重要な施設であり、子どものニーズを踏まえ、総合的な検討が必要となります。
- 開設間もない県内唯一の施設で事例やノウハウの蓄積がまだ少ないため、自立援助ホームにおける子どもの支援の在り方について、関係機関と共に理解を深めていく必要があります。

【取組】

- 新たに開設の相談があった場合は、各児童相談所の意向を踏まえた上で検討、支援を行っていきます。
- 県では、各児童福祉施設と同様に、研修会や「社会的養護における安心・安全レベルアップ推進事業」を通じて、自立援助ホーム支援の専門性向上に取り組めます。

(アンケート資料7)

【自立支援に関する子どもの意見】

対象：児童養護施設、養育里親、ファミリーホームに措置されている小学校4年生以上の全ての子ども（164人中134人が回答）

(Q19) あなたが将来施設（里親・FH）を出るとき、あなたやあなたの家族のために、まわりの大人から協力してほしいと思うことを教えてください。（自由記述）

(A19)

金銭面・お金の支援	11人(9.2%)
住居面・住居探しの支援	5人(4.2%)
進学・進路先の支援	4人(3.3%)
励まして欲しい、応援して欲しい、支えて欲しい	4人(3.3%)
いろいろなことを教えてほしい（書類関係など）	4人(3.3%)
一人暮らしの支援	4人(3.3%)
仕事・仕事探しの支援	3人(2.5%)
困ったことがあったら相談したい	2人(1.7%)
料理・食事の支援	2人(1.7%)
なりたい職業・将来の夢への支援	2人(1.7%)
その他（里親さんとの関わりを切らないでほしい、ママがどこかわからないときに教えてもらいたい、子どものことを第一に動いてほしい、施設育ちを悪い目で見ないでほしい、など）	12人(10.0%)
わからない・今はわからない	22人(18.3%)
なし	45人(37.5%)
合計	120人(100%)

(Q20) 施設（里親・ファミリーホーム）を出たあとも、施設（里親・ファミリーホーム）に相談や遊びに来たいと思いますか。（選択）

(A20)

	思う	思わない	未回答	合計
児童養護施設	88人(65.7%)	30人(22.4%)	16人(11.9%)	134人(100%)
里親	5人(83.3%)	0人(0.0%)	1人(16.7%)	6人(100%)
ファミリーホーム	5人(83.3%)	0人(0.0%)	1人(16.7%)	6人(100%)
合計	98人(67.1%)	30人(20.5%)	18人(12.3%)	146人(100%)

○来たいと思う理由（自由記述）

仲間・友達・みんなに会いたいから	13人(16.5%)
なつかしいと思うから、行きたくなるから、たまに来たい	11人(13.9%)
楽しいから	8人(10.1%)
職員・里親さんのことが好きだから	6人(7.6%)
職員・里親さんに会いたいから	5人(6.3%)
感謝の気持ちを伝えるため、元気だと知らせるため	5人(6.3%)
相談したい、話したい、わからないことを聞くため	5人(6.3%)
いろいろ心配だから、不安になるから、安心するから	4人(5.1%)
きょうだい、親しい人、大切な人がいるから	4人(5.1%)
ひまだから、ひまなとき来たい	4人(5.1%)
頼れるから、頼れる人が他にいない	2人(2.5%)
みんなの成長を見てみたい	2人(2.5%)
なんとなく	2人(2.5%)
その他（家がないから、里親さんとずっと一緒に暮らしたいから、つらい思いをしている子どもの助けになりたい、など）	8人(10.1%)
合計	79人(100%)

○来たいと思わない理由（自由記述）

嫌だから、思い出したくないから	6人(21.4%)
面倒くさい、だるい、つまらない	6人(21.4%)
特にない、なんとなく	5人(17.9%)
仕事などで忙しいと思うから	2人(7.1%)
遠いから	2人(7.1%)
その他（信頼していないから、自立することに集中したいから、など）	7人(25.0%)
合計	28人(100%)

(アンケート資料8)

【自立生活・自立支援に関わる児童養護施設退所者の意見】

対象：児童養護施設から自立した退所者（退所時15歳以上）で、施設から連絡がつく方（43人中25人が回答）

(Q21) あなたの性別を教えてください。(選択)

(A21)

男	女	合計
10人	15人	25人
40.0%	60.0%	100%

(Q22) あなたの年齢を教えてください。(選択)

(A22)

19歳以下	20～24歳	25～29歳	30歳以上	未回答	合計
10人	12人	1人	1人	1人	25人
40.0%	48.0%	4.0%	4.0%	4.0%	100%

(Q23) 今、結婚していますか。(選択)

(A23)

結婚している	独身	未回答	合計
2人	22人	1人	25人
8.0%	88.0%	4.0%	100%

(Q24) 現在、暮らしているところを教えてください。(選択)

(A24)

山形県内	山形県外	合計
15人	10人	25人
60.0%	40.0%	100%

(Q25) 今、勤めていますか（雇用形態も教えてください）。(選択)

(A25)

正社員	パート・派遣・ アルバイト	学生・その他	合計
16人	4人	5人	25人
64.0%	16.0%	20.0%	100%

(Q26) 毎月の給与はどのくらいですか？ (金額記載)

(A26)

10万円未満	2人(10.0%)
10万円～15万円未満	6人(30.0%)
15万円～20万円未満	2人(10.0%)
20万円～25万円未満	6人(30.0%)
25万円以上	2人(10.0%)
未回答	2人(10.0%)
合計	20人(100%)

(Q27) 今の生活は、どうですか？ 困っていることがある場合、その内容は
何ですか。(選択)

(A27)

とくに困ってい ることはない	困っていること がある	合計
17人	8人	25人
68.0%	32.0%	100%

○困っていること (自由記述)

◆親や兄弟のこと (4人) ◆将来のこと (4人) ◆異性のこと ◆テレビが
無い ◆交通の便が無い、水しか出ない ◆子どものこと、収入のこと、健康の
こと

(Q28) 困ったり、迷ったりしたとき、相談する人はいますか。(選択・複数)

(A28)

親	6人(24.0%)
きょうだい	3人(12.0%)
親せき	3人(12.0%)
友人	19人(76.0%)
同僚	3人(12.0%)
学校の恩師	0人(0.0%)
施設職員	16人(64.0%)
その他 (NPO法人)	1人(4.0%)
相談する人がいない	0人(0.0%)
合計	25人(100%)

(Q29) 施設で暮らしていたとき、これができる良かったと思うことはありますか。(自由記述)

(A29)

たくさんの人、いろんな人、様々な年代と出会えた	7人(28.0%)
イベント・行事・旅行に参加できた	5人(20.0%)
食事が出た	2人(8.0%)
楽しく過ごせた	2人(8.0%)
相談できる人、向き合って話を聞いてくれる人がいた	2人(8.0%)
集団生活を通して良いこと悪いこと、人間関係を学んだ	2人(8.0%)
その他(自炊が出来るようになった、資格が取れた、人見知りしない性格になった、など)	5人(20.0%)
合計	25人(100%)

(Q30) 施設で暮らしていたとき、できなくて残念だったと思うことはありますか。(自由記述)

(A30)

◆もっと料理を教わりたかった◆メールなどの書き方、一般教養◆友人宅への泊まり、友達と旅行◆アルバイトで友達と遊べなかった◆世間知らずでバカにされる事◆一人部屋で生活できなかった◆プライベートな所までふみ込んでくる所◆施設にいたこと◆ルールが多すぎて他の人よりも自由じゃないこと◆お金が使えなかった

(Q31) 施設で学んだことで、社会生活で役に立ったことはなんですか。(自由記述)

(A31)

言葉づかい、礼儀、接客、常識	4人(19.0%)
人とのコミュニケーションのとり方	4人(19.0%)
お金の使い方	3人(14.3%)
料理	3人(14.3%)
学校に通えた、中学高校でたくさん資格を取った	2人(9.5%)
その他(人に相談して解決する努力、協調性や行動力、身の回りがしっかりできること、など)	5人(23.8%)
合計	21人(100%)

(Q32) もっと学びたかったことはなんですか。(自由記述)

(A32)

◆料理(2人) ◆人生いつからでもやりたい事(勉強等)ができるということを知る ◆将来性を考えてもっと勉強をしたかった ◆異性との付き合い方 ◆接客の知識 ◆家事など学ぶことが少なくて、できないことが多い ◆もっと年下の子達と関わる機会があればよかった(忙しくて難しかった)

(Q33) 施設での自立(就学・就労等)に向けた支援で満足したことはなんですか。(自由記述)

(A33)

金銭的支援、自立のためのお金を貯めていてくれた	3人(17.6%)
就職先を一緒に探してもらえたこと	2人(11.8%)
新生活で使うもの、スーツ等買ってもらえた	2人(11.8%)
自動車免許の取得、資格の取得	2人(11.8%)
先生方の厚いサポート、勉強の仕方を教えてもらった	2人(11.8%)
みんなが応援してくれた、話を聞いてくれた	2人(11.8%)
自分で料理を作れた、一人暮らしの練習をさせてくれた	2人(11.8%)
その他(社会に出てからのマナーを覚えてもらった、など)	2人(11.8%)
合計	17人(100%)

(Q34) 施設での自立(就学・就労等)に向けた支援で不満だったことはなんですか。(自由記述)

(A34)

◆自分で車を選べなかったこと ◆自分の入りたかった高校がお金の問題で入れなかったこと ◆一人で初めて行くところに行かされたこと ◆先生によりバラつきがあること ◆自立